

## 平成29年度「学校経営方針」

在外教育施設 アブダビ日本人学校

校長 梶山 明彦

平成29年4月9日

### 1 はじめに

本校は、世界89校の日本人学校の中でも唯一外国籍(UAE国籍他)を正式に受け入れている日本人学校です。11年前、アブダビの皇太子が日本政府に働きかけ、日本政府が了承して始まったプロジェクトです。11年前入園(幼稚園年少への入園試験)した子どもたちはすでに本年度中学3年生となり、来年度は、日本の高等学校に進学する予定です。特殊な事情がある本校ですが、本来の日本人学校として、文部科学省派遣教員は、日本の子どもたちの教育に、進学に、全力を傾けた教育活動を行いながら、日本とUAEの架け橋となるべきUAE児童生徒の教育にも、経済産業省NPO派遣職員と力を合わせて学校運営を行います。

本年度、学級数全9学級、児童生徒数55名(4月20日現在)でスタートしています。文部科学省派遣教員9名(校長・教頭含む)が担任および各教科担当として日々教育しています。他に現地採用教員1名(アラビア語・対外折衝)、対外折衝補助1名、現地採用時間講師1名、現地採用事務職員1名、現地採用看護師1名、用務員1名、警備員2名、バス添乗員2名の総勢19名が本校の教育活動に携わっています。それとは別組織、UAE児童生徒のみへの補助や補習担当として、経済産業省NPO派遣教員5名、ファミリーサポートスタッフ1名、アブダビ教育評議会(ADEC)派遣教員6名の総勢12名が教育活動をしています。

### 2 学校教育目標

「日本人としてのアイデンティティを大切に、『確かな学力』や『生きる力』、『国際感覚』や『人権感覚』、『グローバル人材となり得る資質や能力』を身につけ、主体的に学び、何事にも最善を尽くし自ら伸びようとする子どもを育成する。」

### 3 具体目標

- (1) 思いやりのある豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる自覚を育成する
- (2) 子どもたちが意欲的に学び、主体的に考える力を育成する
- (3) 健康でたくましく生きるための体力を育成する

### 4 目指す学校像

- (1) 安心・安全で、心おだやかになる教育環境を確保し、保護者や日本人社会等からも信頼される学校
- (2) 主体的に学び、自らを律し、粘り強く努力するとともに、思いやりがあり心豊かな児童生徒の育成を目指す学校

#### 4 めざす教師像

- (1) 子どもの目の高さでものを見、子どもとともに育つ教師
- (2) 子ども一人一人に光を当て、個性を伸ばすことのできる教師
- (3) 常に自己研鑽に努め、自らを高めようと努力する教師
- (4) 豊かな国際性を持ち、現地社会に貢献できる教師
- (5) 服務規則に厳正で、規律正しい教師

#### 5 めざす子ども像

- (1) 広い視野と国際感覚をもち、心のやさしい子ども
- (2) 色々なことに興味と関心をもち、積極的にものごとを解決しようとする子ども
- (3) 心も体も鍛えようと努力する、たくましい子ども

#### 6 現状と課題

- ・安全管理の徹底，施設設備の充実などをさらに図る。
- ・人と共感する心や互いに認め合う気持ち，相手の立場になって考えることなど，人権意識を育む取組をいっそう推進する。
- ・児童生徒の学力向上のため，教員の授業力向上を図り，常に児童生徒の立場に立った，よりわかりやすく質の高い授業を目指して，授業を改善する。
- ・所属感や存在感，満足感等を味わえる，実り豊かな学校生活をさらに充実させる。
- ・受け入れているUAE児童への指導の充実を図るとともに，将来の進路保障等についてはつきりとした見通しを持つ。
- ・成果のある児童生徒への指導となるよう，学校の組織力をさらに向上させる。

#### 7 中期的な重点目標

- (1) 児童生徒の心の成長をうながすため，人権感覚あふれる学校づくりを推進するとともに，児童生徒の基本的な生活習慣の確立や，自主的な活動・所属感や存在感等を味わえる活動を奨励・支援するための取組を推進する。
- (2) 児童生徒（UAE児童生徒も含む）の進路実現を図るため，教育活動全体を通じて組織的に児童生徒の学習意欲を高め，学習習慣を確立するための取組を充実させるとともに，学習指導や進路指導における教員の指導力向上を図る取組を推進する。
- (3) より活力のある学校組織を構築するため，学校運営理事会等との連絡をさらに密にし，教育環境の整備を図り，教員の資質向上や校務運営の改善に継続的に取り組む。

## 8 本年度の行動計画

### (1) 安心・安全を確保し信頼される学校づくり

- ・行事精選を引き続き行う。
- ・防犯ビデオカメラの増設，塀からの侵入者防止対策，門扉の改修、職員室等の強化、シェルター化等のセキュリティーの向上に努める。
- ・大使館と連携して避難訓練を実施するなど，訓練の一層の充実を図るとともに，学校施設の月1回の点検，安全管理の見直し，安全計画の策定などに努める。
- ・道徳、各教科・領域等全教育活動において人権意識を高め，人権を尊重する教育、日本人としての規律、礼儀をより身につける指導を進める。
- ・全学年で実施する各種の行事，複数の学年で行う委員会活動など，幼小中が同一敷地内にある利点を生かして交流を図り，思いやりの心の育成に努める。
- ・集会活動，宿泊的行事と道徳領域の充実を図り，日頃から「人の話を聞く，時間を守る，礼法を身につける」といった規範意識の向上に努める。
- ・朝夕の挨拶，名前を呼ぶ際呼び捨てにせず「さん」「くん」付け等の励行，児童生徒への積極的な声かけなどに努める。
- ・清掃活動や美化活動など，社会の一員としての自覚を培うとともに，所属する集団に寄与し，貢献する児童生徒の育成に努める。
- ・「開かれた学校」「信頼される学校」を目指して，保護者との相談会・懇談会の実施，学校・学年だよりの発行，保護者アンケートの実施等に努める。
- ・特別支援教育に関わって，児童生徒に対する支援の体制づくりを推進する。
- ・緊急時の対外連絡網（保護者，学校運営理事会，文部科学省，在日本大使館，現地消防署／警察署／A D E C，所属職員等関係機関及び個人連絡先）を整備する。

### (2) 学力の向上を目指す学校

- ・興味・関心のわく教材教具の開発・指導法の改善、「徹底反復学習」などにより，児童生徒が主体的に積極的に学習に取り組める授業づくりに努める。
- ・分からなければ分かるまで，できなければできるだけ取り組むことができるような指導体制の確立に努める。
- ・「週案簿」の活用等により，授業の進捗を確認しながら計画的に学習指導を進め，日本国内の進度に先行した学習指導に努める。
- ・指導力の向上に向けた取組を校内研修や長期休業中の研修を中心に進める。
- ・「そろばん教室」「徹底反復学習」等を通して，集中力や計算力、漢字力を培う。
- ・小学校4年生以上の希望者に、放課後補習「達成タイム」を行う。

### (3) 実り豊かな学校生活

- ・学級活動，委員会活動，修学旅行等の特別活動の活性化に努める。
- ・夏祭り・砂漠行事・翔鷹祭等のアブダビ日本人学校伝統の学校行事を見直し，さ

らに推進する。

- ・昨年度完成した、副読本改訂第5版「すばらしきアブダビ」の積極的な活用や現地施設の見学，外部人材のご協力などにより，各学年や発達段階に応じた現地地理教育を推進する。
- ・全学年でネイティブの教員による「アラビア語」「英会話」の指導を実施する。
- ・ボランティアで学校教育に関わっていただける方を募集し，読み聞かせ等を引き続き実施する。
- ・「イマージョン教育」を試行する。

#### (4) UAE国民児童に関わる教育の充実

- ・UAE児童生徒の卒業後の進路について，あるいは，小中学校在籍中の日本への体験学習等について，学校運営理事会や各関係団体との協議して進める。
- ・日本の教育課程に沿ったUAE児童生徒の指導と支援の充実を図り，基礎・基本の学力の定着と基本的な生活習慣の定着に努める。
- ・卒業後の進路や日本訪問プログラムに備えて，日本の生活習慣や伝統文化などについての指導をさらに進める。

#### (5) 学校の組織力の向上

- ・大使館附属のコミュニティスクールとして，日本人会，学校運営理事会，保護者との連絡や情報交換を密にし学校運営を進める。
- ・日常的な授業公開やPTA活動等と連携した取組の充実を図る。
- ・管理職が不在の場合でも機能的に校務運営が推進されるよう，校長 $\longleftrightarrow$ 教頭 $\longleftrightarrow$ 教務主任 $\longleftrightarrow$ 教諭という職責ラインを確立する。
- ・教育公務員、文部科学省派遣教員としての自覚を持ち，体罰等の禁止，交通事故防止，報告・連絡・相談や許可申請手続き等の徹底など，サービスの厳正に努める。
- ・児童生徒の家庭で年間を通した見通しが持てるよう，学校の年間指導計画，行事予定，校務分掌等を保護者に公開する。

## 9 おわりに

昨年度より数々の改善をしているが、今年度もさらに改善に取り組みます。

アブダビ日本人学校全教職員が一丸となって，学校運営に参画し，与えられた職務を着実に果たしていくことが大切です。そのために，常に職員は服務に厳正に処し，品位と節度をもった言動を心がけ，現地社会，日本人会，学校運営理事会，保護者等の皆様の信頼や期待に応えるよう努力していきます。